

# 未来社会創造事業（ハイリスク・ハイインパクトな研究開発の推進）

## 概要

戦略的創造研究推進事業や科学研究費助成事業等の成果を社会実装に加速して繋げるため、国が定める重点開発領域、技術テーマの下、プログラム・マネージャー(PM)を選定し、経済・社会的なインパクトを重視した非連続イノベーションを創出する画期的・革新的な研究開発を概念実証(POC)に向けて実施する。

## 事業概要

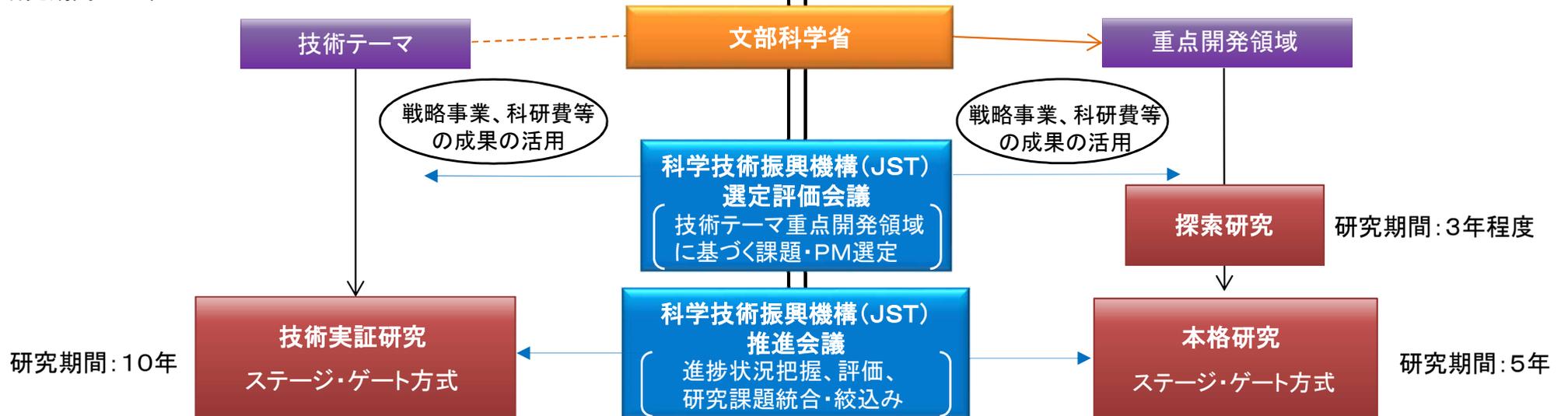
研究開発課題に応じ、以下の2つのタイプで研究開発を推進する。

### <革新的未来技術創出型>

- 将来の社会変革や新産業創出をもたらす画期的・革新的成果創出に向け、挑戦的な課題を設定し、その課題を解決するための研究開発を推進する。
  - 科学技術イノベーションに関する情報を収集・分析し、現在の技術体系を変え、将来の基盤技術となる技術テーマを特定し、当該技術に係る研究開発に集中的に投資する。
  - 科学(Science)と工学(Engineering)の協働により、新たな基盤技術の創出、社会実装までの期間の革新的な短縮を図る。
  - PMの公募段階から企業の参画を求めるとともに、研究開発途上から企業からの費用負担を求めつつ研究開発を行うことにより、創出された新しい基盤技術を速やかに社会実装に繋げるとともに、民間投資の誘発を図る。
- (枠組) 研究期間: 10年

### <研究成果実用化加速型>

- 既存事業を再構成し、国が定める重点開発領域において、社会・産業ニーズを踏まえ挑戦的かつ明確なターゲットを設定し、斬新なアイデアを絶え間なく取り入れる仕組みを導入した研究開発を行う。
  - 当該研究開発を通じて、現在の技術的課題にブレークスルーを起こすとともに、戦略的創造研究推進事業等の研究成果の実用化の加速を図る。
  - これまでの研究開発マネジメントのノウハウを踏まえ、随時公募を行うとともに、スモールスタート・ステージゲート方式を導入することにより、競争環境の下、挑戦性・独創性を確保する。
- (枠組) 研究期間: 原則5年(延長有)



# 既存事業の統合・再編

本事業は、既存事業（ACCEL、ALCA、A-STEP（ステージⅠ）、先端計測分析技術・機器開発プログラム）を統合・再編し、研究初期の段階からPOCまで一気通貫して対応できる事業として実施することとしている。

※既存事業の継続課題分については、これまでどおり既存事業の下で実施する。

